(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2015-114707
(P2015-114707A)
(43)公開日　平成27年6月22日(2015.6.22)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
G06T 11/60	(2006.01)	G06T	11/60	100D	5B050

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 10 頁）

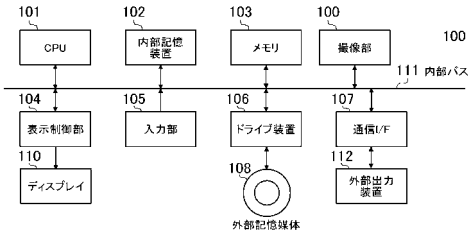
(21)出願番号　特願2013-254262 (P2013-254262)
(22)出願日　平成25年12月9日 (2013.12.9)

(71)出願人　000001007
キヤノン株式会社
東京都大田区下丸子３丁目３０番２号
(74)代理人　100090273
弁理士　國分　孝悦
(72)発明者　鈴木　孝幸
東京都大田区下丸子３丁目３０番２号　キヤノン株式会社内

Ｆターム(参考)　5B050 AA09　BA15　EA19　EA20　FA03

(54)【発明の名称】情報処理装置、情報処理方法及びプログラム

(57)【要約】
【課題】フォトブック指定ファイルに対応していない装置においても、ユーザの希望するレイアウトで画像を出力することを目的とする。
【解決手段】画像指定ファイルにおいて指定される画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページのレイアウトを決定するレイアウト決定手段と、レイアウト決定手段により決定されたレイアウトに従い、画像指定ファイルにおいて指定されている各画像をレイアウトするレイアウト手段と、レイアウト後の各ページに対応する印刷ジョブを含む印刷指定データを作成する印刷指定データ作成手段とを有する。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像指定ファイルにおいて指定される画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページのレイアウトを決定するレイアウト決定手段と、
前記レイアウト決定手段により決定されたレイアウトに従い、前記画像指定ファイルにおいて指定されている各画像をレイアウトするレイアウト手段と、
レイアウト後の各ページに対応する印刷ジョブを含む印刷指定データを作成する印刷指定データ作成手段と
を有する情報処理装置。
【請求項２】
前記レイアウト手段により第１のレイアウトの第１のページと、前記第１のレイアウトに比べて画像数の多い第２のレイアウトの第２のページとが作成された場合に、前記第２のページにレイアウトされた複数の画像を１つの画像に合成し、前記第２のページにおいて、前記第１のレイアウトに従い、合成後の画像を再レイアウトするレイアウト変更手段をさらに有する請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記レイアウト決定手段は、すべてのページに対し同一のレイアウトを決定する請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項４】
情報処理装置が実行する情報処理方法であって、
画像指定ファイルにおいて指定される画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページのレイアウトを決定するレイアウト決定ステップと、
前記レイアウト決定ステップにおいて決定されたレイアウトに従い、前記画像指定ファイルにおいて指定されている各画像をレイアウトするレイアウトステップと、
レイアウト後の各ページに対応する印刷ジョブを含む印刷指定データを作成する印刷指定データ作成ステップと
を含む情報処理方法。
【請求項５】
コンピュータを、
画像指定ファイルにおいて指定される画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページのレイアウトを決定するレイアウト決定手段と、
前記レイアウト決定手段により決定されたレイアウトに従い、前記画像指定ファイルにおいて指定されている各画像をレイアウトするレイアウト手段と、
レイアウト後の各ページに対応する印刷ジョブを含む印刷指定データを作成する印刷指定データ作成手段と
して機能させるためのプログラム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、情報処理装置、情報処理方法及びプログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、ユーザにより選択された画像を含むフォトブックを作成する技術が知られている。一方で、近年、記録メディアの記録容量の増加に伴い、デジタルカメラにおいては、記録メディアに数千枚の画像を記録することが可能となった。
このため、フォトブックを作成する作成機器においては、記録メディアに記録される数千枚の画像の中から、フォトブックを作成すべく数十枚の画像を選択する必要があるが、作成機器では、画像選択に長時間を要してしまうという問題があった。
この問題を解決する技術として、ユーザが事前にデジタルカメラで画像を選択し、選択された画像を示すフォトブック指定ファイルを作成し、作成機器で、フォトブック指定フ

ァイルに基づいて、フォトブックを作成する技術が提案されている。
【０００３】
　また、デジタルカメラで撮影した画像を簡単に印刷指定するための印刷指定ファイルとして、従来ＤＰＯＦ（Ｄｉｇｉｔａｌ　Ｐｒｉｎｔ　Ｏｒｄｅｒ　Ｆｏｒｍａｔ）が用いられてきた（非特許文献１）。
【先行技術文献】
【非特許文献】
【０００４】
【非特許文献１】ＤＰＯＦ　Ｏｆｆｉｃｉａｌ　Ｗｅｂ　Ｓｉｔｅ，［平成２５年８月６日検索］　ＵＲＬ：ｈｔｔｐ；／／ｐａｎａｓｏｎｉｃ．ｊｐ／ｄｃ／ｄｐｏｆ＿１１０／
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
　上述のように、フォトブックの作成機器にフォトブック指定ファイルが入力された場合には、作成機器における画像指定の手間を省くことができる。しかしながら、この場合には、作成機器が、フォトブック指定ファイルに対応している必要がある。作成機器がフォトブック指定ファイルに対応していない場合、この作成機器で、フォトブック指定ファイルから作成できるのは、図１０に示すように、各画像を各ページに割り当てた印刷指定ファイルに限られてしまう。このため、ユーザが希望するレイアウトの印刷を行うことができないという問題があった。
【０００６】
　本発明はこのような問題点に鑑みなされたもので、フォトブック指定ファイルに対応していない装置においても、ユーザの希望するレイアウトで画像を出力することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
　そこで、本発明は、情報処理装置であって、画像指定ファイルにおいて指定される画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページのレイアウトを決定するレイアウト決定手段と、前記レイアウト決定手段により決定されたレイアウトに従い、前記画像指定ファイルにおいて指定されている各画像をレイアウトするレイアウト手段と、レイアウト後の各ページに対応する印刷ジョブを含む印刷指定データを作成する印刷指定データ作成手段とを有する。
【発明の効果】
【０００８】
　本発明によれば、フォトブック指定ファイルに対応していない装置においても、ユーザの希望するレイアウトで画像を出力することができる。
【図面の簡単な説明】
【０００９】
【図１】デジタルカメラを示す図である。
【図２】フォトブック指定ファイルの一例を示す図である。
【図３】印刷指定ファイルの一例を示す図である。
【図４】印刷指定ファイル作成処理を示すフローチャートである。
【図５】レイアウト決定処理を示すフローチャートである。
【図６】レイアウト決定処理を示すフローチャートである。
【図７】印刷指定ファイルの一例を示す図である。
【図８】印刷指定ファイル作成処理を示すフローチャートである。
【図９】印刷指定ファイルの一例を示す図である。
【図１０】従来の印刷指定ファイルの一例を示す図である。
【発明を実施するための形態】

【００１０】
以下、本発明の実施形態について図面に基づいて説明する。
【００１１】
（第１の実施形態）
図１は、第１の実施形態にかかるデジタルカメラ１００を示す図である。デジタルカメラ１００は、情報処理装置の一例である。デジタルカメラ１００は、ＣＰＵ１０１と、内部記憶装置１０２と、メモリ１０３と、表示制御部１０４と、入力部１０５と、ドライブ装置１０６と、通信Ｉ／Ｆ１０７と、撮像装置１０９と、これらを接続する内部バス１１１とを有している。内部バス１１１に接続するこれら各部は、内部バス１１１を介して互いにデータのやり取りを行うことができる。
ＣＰＵ１０１は、デジタルカメラ１００全体を制御する。内部記憶装置１０２は、各種情報を格納している。内部記憶装置１０２は、例えばＣＰＵ１０１が動作するための各種プログラムや表示用ＵＩデータを格納している。メモリ１０３は、各種情報を格納している。メモリ１０３は、ワークメモリとして利用される。
【００１２】
入力部１０５は、ユーザ操作を受け付け、操作に応じた制御信号を生成し、ＣＰＵ１０１に供給する。入力部１０５は、例えばユーザ操作を受け付ける入力デバイスとして、シャッター釦や決定、拡大、縮小のための釦や、タッチパネル等のポインティングデバイスを有している。なお、タッチパネルは、例えば平面的に構成された入力部に対して接触された位置に応じた座標情報が出力されるようにした入力デバイスである。
表示制御部１０４は、ディスプレイ１１０に対して画像を表示させるための表示信号を出力する。例えば、表示制御部１０４に対して、ＣＰＵ１０１がプログラムに従い生成した表示制御信号が供給されると、表示制御部１０４は、この表示制御信号に基づき表示信号を生成してディスプレイ１１０に対して出力する。また、表示制御部１０４は、ＣＰＵ１０１が生成する表示制御信号に基づき、ＧＵＩ（Ｇｒａｐｈｉｃａｌ Ｕｓｅｒ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ）を構成するＧＵＩ画面をディスプレイ１１０に表示する。
なお、入力部１０５としてタッチパネルを用いる場合、入力部１０５とディスプレイ１１０とは一体的に形成されてもよい。例えば、光の透過率がディスプレイ１１０の表示を妨げないようなタッチパネルが、ディスプレイ１１０の表示面の上層に取り付けられていてもよい。そして、デジタルカメラ１００では、タッチパネルにおける入力座標と、ディスプレイ１１０上の表示座標とを対応付けて、各種処理を行う。これにより、恰もユーザがディスプレイ１１０上に表示された画面を直接的に操作可能であるかのようなＧＵＩを構成することができる。
【００１３】
ドライブ装置１０６は、ＳＤやＣＦといった外部記憶媒体１０８を装着し、ＣＰＵ１０１の制御に基づき、装着された外部記憶媒体１０８から画像等の情報を読み出す。ドライブ装置１０６はまた、撮像装置１０９で生成され、メモリ１０３に保存された画像を外部記憶媒体１０８に書き込む。外部記憶媒体１０８は、さらに、フォトブック指定ファイルを格納している。ここで、フォトブック指定ファイルとは、フォトブックの対象となる画像を指定する情報である。フォトブック指定ファイルについては、図２を参照しつつ後に詳述する。
通信Ｉ／Ｆ１０７は、ＣＰＵ１０１の制御に基づき、プリンタやＴＶといった外部出力装置１１２と接続し、通信を行う。撮像装置１０９は、光学部品やＣＣＤ等を有し、画像を撮像する。
なお、後述するデジタルカメラ１００の機能や処理は、ＣＰＵ１０１が内部記憶装置１０２等に格納されているプログラムを読み出し、このプログラムを実行することにより実現されるものである。
【００１４】
図２は、フォトブック指定ファイルの一例を示す図である。フォトブック指定ファイルは、ユーザからの指定に基づいて作成される。具体的には、ＣＰＵ１０１は、外部記憶媒

体１０８に格納されている画像一覧をディスプレイ１１０に表示する。そして、ユーザがフォトブックに含めたい画像を選択すると、ＣＰＵ１０１は、ユーザ指示を受け付ける。そして、ＣＰＵ１０１は、ユーザにより選択された画像を指定する情報をフォトブック指定ファイルとして作成し、これを外部記憶媒体１０８に格納する。なお、フォトブック指定ファイルは、画像を指定する情報を含む画像指定ファイルの一例である。

本実施形態にかかるデジタルカメラ１００は、フォトブック指定ファイルから、印刷指定ファイルを作成する。この印刷指定ファイルは、フォトブック作成機能を有さないプリンタにおいても処理可能な情報である。すなわち、デジタルカメラ１００は、フォトブック指定ファイルから印刷指定ファイルを作成することにより、印刷指定ファイルに基づいて、フォトブックの各ページを印刷することができる。

【００１５】

図３は、印刷指定ファイルの一例を示す図である。印刷指定ファイルの［ＨＤＲ］セクションには、撮影機器の情報や作成日時等、印刷全体に関係するパラメータが記述されている。［ＪＯＢ］セクションには、それぞれ１つの印刷ジョブが指定され、ＴＹＰで指定されたレイアウトで記載された画像の印刷指定が記述されている。図３に示す印刷指定ファイルは、フォトブック指定ファイルで指定された５０枚の画像を、２０個のジョブとして扱うものである。ここで、１つの印刷ジョブは、１ページに相当する。

【００１６】

図４は、デジタルカメラ１００による、印刷指定ファイル作成処理を示すフローチャートである。まず、ステップＳ４０１において、ＣＰＵ１０１は、外部記憶媒体１０８に格納されているフォトブック指定ファイルを解析し、フォトブック指定ファイルにおいて指定されている画像の数を特定する。

次に、ステップＳ４０２において、ＣＰＵ１０１は、フォトブック指定ファイルにおいて指定されている画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページのレイアウトを決定する（レイアウト決定処理）。ここで、基準ページ数とは、印刷指定ファイルに含まれる最大ページ数である。基準ページ数は、例えば、内部記憶装置１０２等に予め設定されているものとする。また、レイアウトは、１ページに含まれる画像の数及び各画像の配置である。なお、ステップＳ４０２における処理については後述する。

【００１７】

次に、ステップＳ４０３において、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ４０２で決定されたレイアウトに基づいて、各ページに画像をレイアウト（配置）する（レイアウト処理）。そして、ＣＰＵ１０１は、レイアウト後の各ページに対応する印刷ジョブを含む印刷指定データをメモリ１０３上に作成する（印刷指定データ作成処理）。次に、ステップＳ４０４において、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ４０３において作成された印刷指定データを印刷指定ファイルとして外部記憶媒体１０８に格納する。

【００１８】

次に、レイアウト決定処理（ステップＳ４０２）について説明する。図５は、レイアウト決定処理（ステップＳ４０２）における詳細な処理を示すフローチャートである。ステップＳ５０１において、ＣＰＵ１０１は、内部記憶装置１０２から基準ページ数を読み出す。そして、ＣＰＵ１０１は、画像指定ファイルにおいて指定されている画像の数と、基準ページ数とに基づいて、各ページに割り当てる画像数、すなわち各印刷ジョブに割り当てる画像数を計算する。

ここで、印刷指定ファイルで指定可能なレイアウトは、特定のレイアウトに限られるものとする。そして、ＣＰＵ１０１は、特定のレイアウトにおける画像数を最大値として、各ジョブに割り当てる画像数を計算する。

【００１９】

次に、ステップＳ５０２において、ＣＰＵ１０１は、画像指定ファイルにおいて指定されたすべての画像を基準ページ数のページに割り当てることができるか否かを判定する。ＣＰＵ１０１は、割り当て可能と判定した場合には（ステップＳ５０２でＹｅｓ）、処理をステップＳ５０４へ進める。ＣＰＵ１０１は、割り当て不可能と判定した場合には（Ｓ

ステップＳ５０２でＮｏ）、処理をステップＳ５０３へ進める。
ステップＳ５０３において、ＣＰＵ１０１は、印刷指定ファイルに含まれるページ数を基準ページ数から所定数だけ増加させ、処理をステップＳ５０１へ進める。ステップＳ５０４において、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ５０１における計算結果に基づいて、各ページのレイアウトを決定する。ここで、レイアウトは、１ページに配置する画像数と、各画像のページにおける配置位置である。

【００２０】

以上のように、本実施形態にかかるデジタルカメラ１００は、フォトブック指定ファイルから印刷指定ファイルを生成する。したがって、フォトブック作成機能を有さない場合であっても、フォトブックの体裁をなす、ユーザの希望するレイアウトで画像を印刷することができる。

【００２１】

次に、第１の実施形態にかかるデジタルカメラ１００の変更例について説明する。図６は、変更例にかかるレイアウト決定処理（ステップＳ４０２）における詳細な処理を示すフローチャートである。図５を参照しつつ説明したレイアウト決定処理が、基準ページ数を優先する処理であるのに対し、図６に示すレイアウト決定処理は、すべてのページのレイアウトを統一することを優先する処理である。
ステップＳ６０１において、ＣＰＵ１０１は、内部記憶装置１０２から基準ページ数を読み出す。そして、ＣＰＵ１０１は、印刷指定ファイルにおいて、すべての印刷ジョブに同一レイアウトを指定することにより、画像指定ファイルにおいて指定されたすべての画像を印刷ジョブに割り当てることができるか否かを判定する。このとき、ＣＰＵ１０１は、基準ページ数と、画像指定ファイルにおいて指定された画像数と、印刷指定ファイルにおいて指定可能なレイアウトの種類とに基づいて判定する。
ＣＰＵ１０１は、例えば印刷指定ファイルにおいて指定可能なレイアウトの種類のうち、最も多い数の画像を１ページ中に配置可能なレイアウトを特定する。そして、ＣＰＵ１０１は、特定したレイアウトをすべての印刷ジョブに割り当てることとした場合に、すべての画像を割り当てることができる場合に、割り当て可能と判定する。

【００２２】

ＣＰＵ１０１は、割り当て可能と判定した場合には（ステップＳ６０１でＹｅｓ）、処理をステップＳ６０３へ進める。ＣＰＵ１０１は、割り当て不可能と判定した場合には（ステップＳ６０１でＮｏ）、処理をステップＳ６０２へ進める。ステップＳ６０２において、ＣＰＵ１０１は、印刷指定ファイルに含まれるページ数を基準ページ数から所定数だけ増加させ、処理をステップＳ６０１へ進める。ステップＳ６０３において、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ６０１において想定したレイアウトに基づいて、各ページのレイアウトを決定する。
図７は、変更例にかかるデジタルカメラ１００により作成された印刷指定ファイルの一例を示す図である。図７に示す印刷指定ファイルにおいては、すべての印刷ジョブにおいて、同一のレイアウトが指定されている。このように、変更例においては、すべてのページのレイアウトが統一されたフォトブックの体裁をなす印刷物を出力することができる。

【００２３】

さらに、他の例としては、ユーザは、図５に示す基準ページ数を優先する処理及び図６に示すレイアウト統一を優先する処理のうち、いずれか一方を選択してもよい。この場合、ＣＰＵ１０１は、ユーザによる選択指示に基づいて、処理を選択し、選択した処理を実行することとしてもよい。

【００２４】

（第２の実施形態）

次に、第２の実施形態にかかるデジタルカメラ１００について説明する。第２の実施形態にかかるデジタルカメラ１００は、すべてのページ（すべての印刷ジョブ）のレイアウトが統一されていない場合に、レイアウトを統一するための処理を行う。以下、第２の実施形態にかかるデジタルカメラ１００について、第１の実施形態にかかるデジタルカメラ

１００と異なる部分について説明する。

【００２５】

図８は、第２の実施形態にかかるデジタルカメラ１００による、印刷指定ファイル作成処理を示すフローチャートである。なお、図８おいて、第１の実施形態にかかる印刷指定ファイル作成処理（図４）の各処理と同一の処理には、同一番号を付している。

ステップＳ４０３において、印刷指定ファイルが作成されると、次に、ステップＳ８０１において、ＣＰＵ１０１は、印刷指定ファイルを解析し、印刷指定ファイルの各印刷ジョブ（各ページ）のレイアウトの種類を特定する。次に、ステップＳ８０２において、ＣＰＵ１０１は、複数の種類が特定された場合には（ステップＳ８０２でＹｅｓ）、処理をステップＳ８０３へ進める。ステップＳ８０２において、ＣＰＵ１０１は、１種類が特定された場合には（ステップＳ８０２でＮｏ）、処理をステップＳ４０３へ進める。

ステップＳ８０３において、ＣＰＵ１０１は、画像数の多いレイアウトが指定された印刷ジョブ（ページ）に割り当てられた複数の画像を１つの画像に合成する。次に、ステップＳ８０４において、ＣＰＵ１０１は、画像数の多いレイアウトが指定されたページのレイアウトを、より少ない画像数のレイアウトに変更する。そして、ＣＰＵ１０１は、合成後の画像を変更後のレイアウトに再レイアウトする（レイアウト変更処理）。そして、ＣＰＵ１０１は、処理をステップＳ４０３へ進める。

【００２６】

例えば、第１のページに対し第１のレイアウトが指定され、第２のページに対し、第１のレイアウトに比べて画像数の多い第２のレイアウトが指定されていたとする。具体的には、第１のレイアウトが、２つの画像を含み、第２のレイアウトが３つの画像を含むとする。

この場合、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ８０３において、画像数の多い第２のレイアウトの第２のページに割り当てられている３つの画像のうち２つの画像を選択する。そして、ＣＰＵ１０１は、選択した２つの画像を１つの画像に合成する。これにより、第２のページに割り当てる画像数を３つから２つに減らすことができる。

さらに、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ６０４において、第２のページのレイアウトを第１のレイアウトに変更する。そして、ＣＰＵ１０１は、ステップＳ４０３において、第２のページに割り当てられていた３つの画像にかえて、３つの画像のうち２つの画像から合成された画像と、残りの１つの画像の計２つの画像を第１のレイアウトが指定された第２のページに割り当てる。

【００２７】

図９は、第２の実施形態にかかる印刷指定ファイル作成処理により作成された印刷指定ファイルの一例を示す図である。このように、第２の実施形態にかかるデジタルカメラ１００は、すべての印刷ジョブ（ページ）のレイアウトが同一の印刷指定ファイルを作成することができる。これにより、各ページの画像の向きを揃えることができ、良好な出力結果を得ることができる。

なお、第２の実施形態にかかるデジタルカメラ１００のこれ以外の構成及び処理は、第１の実施形態にかかるデジタルカメラ１００の構成及び処理と同様である。

なお、上記合成処理（ステップＳ８０３）において合成対象となる画像の数等は実施形態に限定されるものではない。他の例としては、ＣＰＵ１０１は、３つ以上の画像を１つの画像に合成してもよい。また、他の例としては、ＣＰＵ１０１は、１ページに含まれる４つの画像を２つの画像の組に分け、各２つの画像をそれぞれ１つの画像に合成することにより、２つの画像を得てもよい。

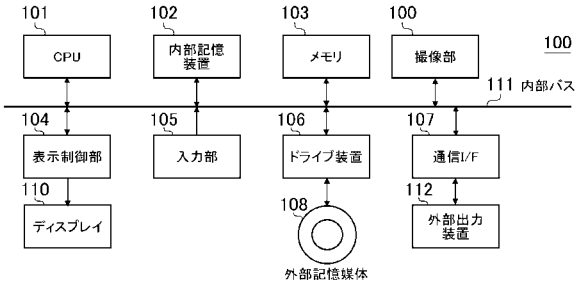
【００２８】

＜その他の実施形態＞

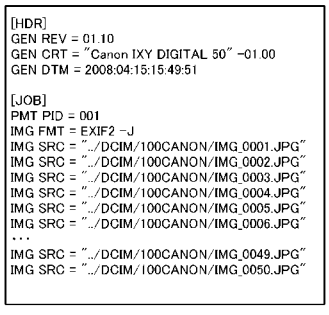
また、本発明は、以下の処理を実行することによっても実現される。即ち、上述した実施形態の機能を実現するソフトウェア（プログラム）を、ネットワーク又は各種記憶媒体を介してシステム或いは装置に供給する。そして、そのシステム或いは装置のコンピュータ（又はＣＰＵやＭＰＵ等）がプログラムを読み出して実行する処理である。

【００２９】
以上、上述した各実施形態によれば、フォトブック指定ファイルに対応していない装置においても、ユーザの希望するレイアウトで画像を出力することができる。
【００３０】
以上、本発明の好ましい実施形態について詳述したが、本発明は係る特定の実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された本発明の要旨の範囲内において、種々の変形・変更が可能である。
【符号の説明】
【００３１】
１００　デジタルカメラ、１０１　ＣＰＵ、１０２　内部記憶装置、１０３　メモリ、１０４　表示制御装置、１０５　入力部、１０６　ドライブ装置、１０７　通信Ｉ／Ｆ、１０８　外部記憶媒体、１０９　撮像部、１１０　ディスプレイ、１１１　内部バス、１１２　外部出力装置

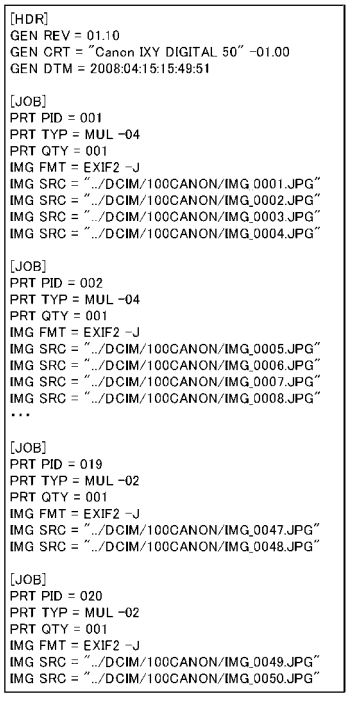
【図１】



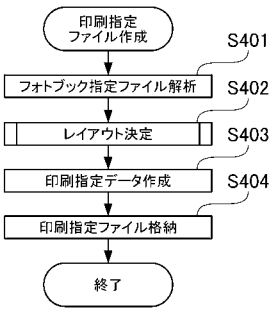
【図２】



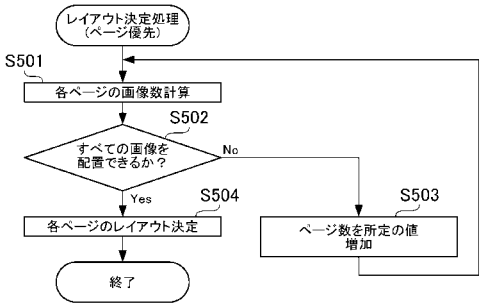
【図３】



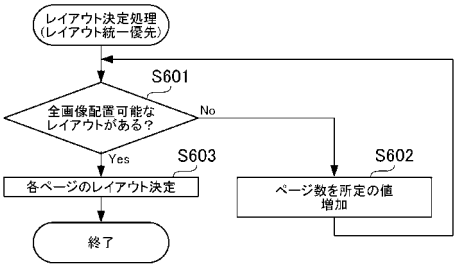
【図４】



【図５】



【図６】



【図７】

```
[HDR]
GEN REV = 01.10
GEN CRT = "Canon IXY DIGITAL 50" -01.00
GEN DTM = 2008:04:15:15:49:51

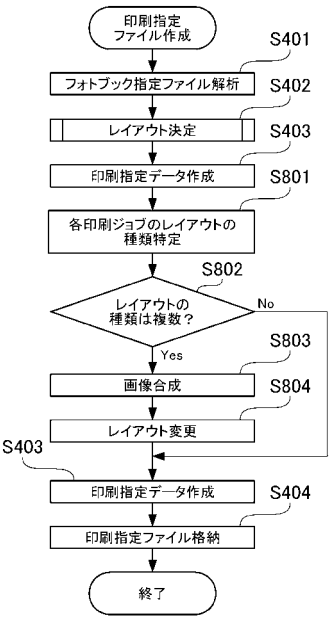
[JOB]
PRT PID = 001
PRT TYP = MUL -04
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0001.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0002.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0003.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0004.JPG"

[JOB]
PRT PID = 002
PRT TYP = MUL -04
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0005.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0006.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0007.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0008.JPG"
・・・

[JOB]
PRT PID = 012
PRT TYP = MUL -04
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0047.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0048.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0047.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0048.JPG"

[JOB]
PRT PID = 013
PRT TYP = MUL -04
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0049.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0050.JPG"
```

【図８】



【図９】

```
[HDR]
GEN REV = 01.10
GEN CRT = "Canon IXY DIGITAL 50" -01.00
GEN DTM = 2008:04:15:15:49:51

[JOB]
PRT PID = 001
PRT TYP = MUL -02
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0001_0002.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0003_0004.JPG"

[JOB]
PRT PID = 002
PRT TYP = MUL -02
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0005_0006JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0007_0008.JPG"
・・・

[JOB]
PRT PID = 019
PRT TYP = MUL -02
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0047.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0048.JPG"

[JOB]
PRT PID = 020
PRT TYP = MUL -02
PRT QTY = 001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0049.JPG"
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0050.JPG"
```

【図１０】

```
[HDR]
GEN REV = 01.10
GEN CRT = "Canon IXY DIGITAL 50" -01.00
GEN DTM = 2008:04:15:15:49:51

[JOB]
PRT PID = 001
PRT TYP = STD
PRT QTY =001
IMG FMT = EXIF2 -J
<IMG SRC = ../DCIM/100CANON/IMG_0001.JPG">

[JOB]
PRT PID = 002
PRT TYP = STD
PRT QTY =001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0002.JPG"
・・・
[JOB]
PRT PID = 050
PRT TYP = STD
PRT QTY =001
IMG FMT = EXIF2 -J
IMG SRC = "../DCIM/100CANON/IMG_0050.JPG"
```